

北関東防衛局広報

令和2年12月(第105号)

編集・企画発行 | 北関東防衛局総務部広報室
埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



父島二見港に入港する「おがさわら丸」

目次

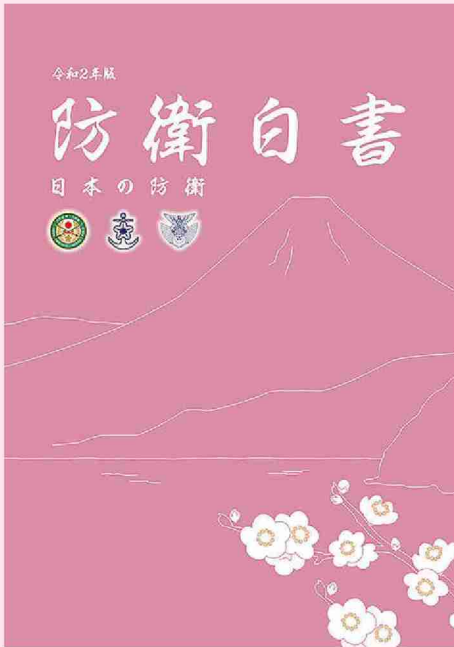
CONTENTS

- 2 令和2年版 防衛白書の刊行
- 3 防衛施設周辺の環境整備事業
- 4-5 わが町紹介(～茨城県小美玉市～)
- 6 令和2年度 局長感謝状贈呈(前入間市長)
令和2年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式
- 7 事務所だより(～小笠原出張所～)
- 8 北関東防衛局からのお知らせとお願い
 - ドローンの規制についてのお知らせ
 - レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - 在日米軍従業員募集

令和2年版 防衛白書の刊行

令和2年版防衛白書が7月に刊行されました。防衛白書は、わが国の防衛の現状と課題及びその取組について広く内外の周知を図り、その理解を得ることを目的として毎年刊行されています。令和2年版防衛白書で刊行から50周年を迎えました。

令和2年版防衛白書の特徴



令和2年版防衛白書は、令和元年の内容を中心に、防衛省・自衛隊の活動や国際情勢を多面的に紹介しています。また、即時再生可能な多数の関連動画を配置（※下記QRコードで是非お試しください。）すると共に、国内外で活躍する自衛隊員の声を紹介するなど、これまで以上にわかりやすく、かつ親しみやすい白書となっています。

また、表紙については、「令和」の元号が万葉集の梅の歌に由来していることから、梅の花と色を基調としたデザインにするとともに、50年前の白書の表紙にも用いられた富士山も描いています。

5 その他の取組

2021（令和2）年5月29日、新型コロナウイルス感染症に対する医療従事者などに対し、其に対応にあたっては殉戦者・自衛隊として戦費と感謝の意を表するため、東京都庁上野において、ブルーインパルスによる飛行を実施した。

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=PFQDQTV6s>

1 防衛この1年

新型コロナウイルス感染症との闘い

2020.09

2 新たな領域

宇宙領域

サイバー領域

電磁波領域

領域横断作戦

防衛白書の地方公共団体等への説明

北関東防衛局では、防衛省の各種施策について、地方公共団体等の理解を深めるとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図るため、当局管内1都7県414箇所の地方公共団体等に対し、地方協力本部や関係部隊等と連携して、防衛白書の説明を毎年実施しています。



【埼玉県(大野知事)への説明】



【長野県(阿部知事)への説明】

防衛施設周辺の環境整備事業

民生安定施設(銚子水産加工センター)が完成しました

本施設「銚子水産加工センター」は千葉県漁業協同組合連合会において、既存施設の老朽化および現代の新たな消費者ニーズに応えるため、防衛省および千葉県の補助金を活用して平成31年1月より工事に着手し、このたび令和2年9月に完成しました。

施設の特徴としては、これまでは切り身や粉付け加工（1・2次加工）までであったものを、手間を掛けずに温めるだけですぐに食べられるような製品にするため、高温高压釜等による加熱加工（3次加工）まで行えるように整備しました。

また、資源量が増加傾向にあるブリ類の取扱量を増加させることや、多くの水揚げがあるもののほとんど利用がされていないホシザメを加工原料として利用することを検討しています。

さらに、加工品の輸出も視野に入れ、食品衛生管理の国際基準であるHACCPも導入しており、今後海外への展開も期待されます。

本施設の整備にあたっては、千葉県房総半島東南方沖に米軍の訓練区域であるチャーリー水域が設けられており、漁業者に対し漁船の操業制限や好漁場へ航行の際に迂回を余儀なくさせている状況に鑑み、漁業経営の負担を軽減させ民生安定に寄与することを目的とし、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条の規定に基づき整備費の一部（約8億円）を助成しています。

当局といたしましては、今後も防衛施設や訓練区域を安定的に運用するためには地元住民の方々のご理解とご協力が不可欠であるものと考え、皆様方の生活の安定と福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



F 2 級冷蔵庫



10 t 凍結庫



ベルトフリーザー

わが町紹介

北関東防衛局では、当局管内の地域住民の方などを対象に防衛省及び当局の施策や管内に所在する防衛施設に対する理解を深めてもらうことを目的に「北関東防衛局広報」を発行しております。

この「北関東防衛局広報」において、これまでの内容に加え、特定防衛施設関連市町村からの御寄稿を頂き、「わが町紹介」と題した市町村の紹介記事を掲載することとなりました。

まずは、航空自衛隊百里基地が所在しています「小美玉市」を紹介します。

わが町紹介 ～茨城県小美玉市～

ダイヤモンドシティ 小・美・玉



第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉の様子



小美玉市は、茨城県のほぼ中央に位置する自然豊かなまちです。特に酪農が盛んで、規模・品質ともに全国でも有数の酪農地帯を誇り、茨城県内の生産量は、常に第1位にランクしています。新鮮な生乳で作られる「おみたまヨーグルト」は、お土産や贈り物として人気を集めています。平成30年10月には、全国初となる「第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉」を開催しました。全国から108種類のご当地ヨーグルトが集まり、約3万9千人にご来場いただきました。

また、ヨーグルトができるまでを動画にした「小美玉ヨーグルトストーリー」が全国広報コンクールで特選を受賞し、動画を通じて「ヨーグルトのまち小美玉」を発信しています。

小美玉市とは

小美玉市という名前には、「小川の流れや美しい自然とともに、玉のように輝き飛躍する市のイメージが感じられる／小さな美しい宝物、あるいは小さな美しい心を持つふるさとになるように／小さな玉が美しく磨かれていく、そんな夢を持てる市になるように（市HPより）」との想いが込められています。

文・写真とも小美玉市に寄稿していただきました。

空のえき そ・ら・ら



茨城空港（上）と「空のえき そ・ら・ら」（下）



「空のえき そ・ら・ら」の産業まつり（上棟式）

小美玉市には百里基地との共用飛行場である茨城空港があり、開港から10周年を迎えました。北関東の空の玄関口として、家族旅行や出張などで国内外問わず多くの方にご利用いただき、令和元年度は約82万人が利用しました。茨城空港のそばにある観光スポット「空のえき そ・ら・ら」では、農産物直売所やレストランを通じて小美玉市の豊富な「食」の魅力を紹介しており、新鮮な農産物やヨーグルト、プリンなど小美玉市の特産品をお買い求めいただけます。乳製品加工施設も併設されており、作りたてのヨーグルトを味わうことができます。小美玉市にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

防衛施設周辺対策事業

小美玉市には、航空自衛隊百里基地が所在しており、地域との調和を図るため、防衛施設周辺対策事業により施設や道路整備を実施しています。近年では、民生安定事業により災害時の避難所となる「宮田防災公園」を整備し、ランニングコースの活用やグランドゴルフ競技等健康増進の推進にも繋がっております。



宮田防災公園

文・写真とも小美玉市に寄稿いただきました。

令和2年度 局長感謝状贈呈(前入間市長)



11月6日、当局局長は、田中龍夫入間市長(当時)に対し感謝状を贈呈しました。

田中市長は、平成24年11月から本年11月の任期満了までの8年間にわたり、在日米軍施設跡地における大規模災害等に備えた施設整備など、当局の施策に御理解いただき、航空自衛隊入間基地の安定的な運用に多大な貢献をされたことから、このたび御退任にあたり感謝の意を表したものです。



航空自衛隊入間基地の概要

航空自衛隊入間基地は、各種司令部、防空指令所、高射部隊が所在し、我が国中央部の防空の要となっている重要施設です。同基地では、C-1輸送機、U-4多用途支援機、CH-47J輸送ヘリコプター等の航空機のほか、地对空誘導弾ペトリオットPAC-3などを運用しています。

また、同基地では、航空祭、納涼祭、RUNWAY WALKなどが開催されており、毎年多くの人々が訪れています。

令和2年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式

在日米軍従業員永年勤続者表彰式は、横田基地、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレス・センター等北関東防衛局管内の在日米軍施設に勤務する従業員の方々の功労を称えるために日米共催で毎年実施されているもので、今年度は10年勤続者89名、20年勤続者53名、30年勤続者51名、40年勤続者3名の合計196名の皆様が受賞の栄に浴されました。

令和2年度については新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大している状況を考慮し、式典及び懇親会は残念ながら開催を中止することとなりましたが、表彰状及び記念品については各職場毎にささやかな式典が催される等して、被表彰者の方々へ授与されました。



AAFES横田エクスチェンジ



横田基地消防署

事務所だより ～小笠原出張所～

ボニン・アイランド

小笠原出張所は、東京竹芝桟橋から24時間船（おがさわら丸）に乗り、約1,000km離れた東京都小笠原村父島にある小笠原総合庁舎内に所在しています。

同庁舎には小笠原総合事務所の職員が入居しています。

当出張所は、父島に所在する海上自衛隊父島基地分遣隊と連携を取るとともに、小笠原村をはじめ関係団体等の御理解と御協力を得ながら、防衛省・自衛隊が行う政策や各種事業について、連絡調整業務等を行っています。



(三代目「おがさわら丸」11,035トン)

小笠原諸島は父島をはじめ大小30余りの島々からなる島嶼群ですが、島民が暮らしているのは父島（約2,150名）と母島（約450名）のみです。大昔から大陸と地続きにならなかったことのない海洋島で、海によって隔てられた小さな島において独自の進化を遂げた多くの固有の生き物やそれらが織りなす生態系を見ることができます。小さな海洋島化を示す典型的な見本として、世界的な価値を持つことが認められ、2011年6月に屋久島、白神山地、知床に次ぐ4番目の「世界自然遺産」に登録されました。

「ボニン」とは小笠原諸島のことで、江戸時代の発見当初、小笠原は「無人島（ぶにんじま）」と呼ばれていました。その後移住した欧米系島民の間で「ブニン」から「ボニン」と転訛していったことに由来します。ちなみに小笠原諸島は現在も英名は「Bonin Islands」です。

小笠原を訪れたら海や山などの自然が一番の見どころですが、今回は父島に来たら必ず訪れる「ウェザーステーション展望台」の魅力を紹介します。

父島にある最大の集落・大村の西側に位置し、海拔200mの場所にあるウェザーステーション展望台はまさに絶景スポットであり、天気の良い日には約50km離れた母島を望み、冬期には運が良ければ周辺を泳ぐザトウクジラのブロウやブリーチング等を見る事もできます。

また、太陽が水平線に沈む直前に一瞬だけ緑色に輝く「グリーンフラッシュ」が見られる世界でも貴重なスポットです。グリーンフラッシュはめったに見ることができませんが、広い海原に沈んでいく美しい夕日はいつ見ても感動必至です。

この小笠原の美しい自然は一生に一度は見るべき価値のある景色です。おすすめのシーズンは、梅雨明け直後でかつ台風の襲来が少ない6月から8月。また、1月から4月には子育てをするためにザトウクジラが北の海から回遊してくるので、ホエールウォッチングをしたいのであればこの時期がおすすめです。小笠原へのアクセスは海路しかありませんが、忙しい日常を忘れ一時の現実逃避に訪れてみてはいかがでしょうか。

小笠原に来島される皆様の素晴らしい旅の思い出と、島の暮らしを守るため、新型コロナウイルス感染拡大防止に御協力して頂き、父島及び母島への御来島を心よりお待ちしております。



(ウェザーステーション展望台からの眺め)

北関東防衛局からのお知らせとお願い

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている
自衛隊施設／米軍施設その周辺地域（周囲約300m）の上空における
ドローン等の飛行は、原則として禁止されています。

これに違反した場合、次のような措置／罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年／罰金50万円



※ このほか、航空法上の無人航空機の飛行禁止空域においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。

対象防衛関係施設および飛行をさせたい場合の手続の詳細については、防衛省HPをご参照ください。
<https://www.mod.go.jp/j/approach/chouwa/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

■ お問い合わせ先

防衛省 北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室 【直通】048-600-1811

レーザー光線の航空機への照射は**犯罪**（注）です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので**決して行わないで下さい**。照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いいたします。



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

《注》平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金)。刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)、航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

外務省、防衛省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。
防衛省本省 地方協力局地方協力企画課在日米軍調整室
【代表】03-3268-3111(内線:36867、36054、36688)
防衛省 北関東防衛局企画部地方調整課連絡調整室
(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄)
【代表】048-600-1800(内線:2213、2236、2226)

★★★★★在日米軍従業員募集★★★★★

日本の「アメリカ」で働きませんか!

……「エルモ」が応援! あなたの就活!……



独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。また、下記の記事をご覧ください。※また、求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。

窓口応募受付・お問い合わせ先

エルモ横田支部管理課管理第二係

■住所:東京都昭島市中町568-1 昭島昭和第2ビル 4階

■電話:042-542-7663

■担当施設:横田飛行場、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレス・センター他

URL : <https://www.lmo.go.jp>



求人情報



※求人情報提供メールサービス

「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報

検索